



とぎれない教育の実現を目指して
子どもたちの光り輝く未来へ！



教員・地域・行政が取り組む
スクラム・スクール・プランとは！

教育の融合から発展へ

御前崎市が誕生して10年、子どもたちの生きる力を育むため、市は教員の授業力の向上や学校・地域・家庭の連携を強めることに力を注いできました。

二つの町が一つになることは、歴史や文化、土地柄の違いなどのさまざまな問題や苦労を乗り越える必要があります。まさに融合の10年でした。

そして、これからの10年は発展へと力強い一歩を踏み出していきます。

保・幼・小・中・高のとぎれない教育を目指す

小学1年生は、保育園・幼稚園の時には年下の子どもの模範となる力を付けてきました。しかし、1年生になると掃除や給食など、今まで自分たちでできたことも教員や上級生に手伝ってもらったりなど、助けられる側になる場合があります。

子どもたちが年長児として身につけたことを土台にして、次のステップの教育をスタートできれば、さらに教育の効率は高まるでしょう。

そのためには、保・幼・小・



中・高でどんな力をどのように育てていくかを互いに理解し合うことが必要となります。

御前崎市はとぎれない教育の実現で教育の質を高めていきます。

教育の思いをつなぐ

幼児教育から学校教育へと子どもたちの成長に合わせて教育内容は変わっていきます。しかし、教育内容は変わっても子どもたちに「生きる力」を育むという使命は同じです。

これまで乳幼児教育・学校教育・社会教育・地域社会・家庭・行政のそれぞれが担ってきた事業や教育、それらの点を一つの線につなぎ教育のスクラムを組む。単なる連携



ではなく、教育に関わる全ての人が思いを共有することで、全体を一つの学校と捉え、とぎれない教育を実現させること、これこそが御前崎市の教育の重点施策となる「保・幼・小・中・高スクラム・スクール・プラン」なのです。

郷土を誇る大切さ

私たちは自分たちの住む御前崎市をどのくらい知っているのでしょうか。自然・文化・産業を築き、守ってきた先人たちの努力を知ること、多くの学びや体験を通じ市民が御前崎市に誇りを持つことがより良い人づくり、まちづくりへとつながっていきます。